



レスポンシブル・ケア



環境レポート 2011

レスポンシブル・ケア報告書



株式会社 ADEKA 相馬工場

環境レポートは再生紙を使用しています。

1. 目次

1. 目次	・・・1
2. 環境レポート作成にあたって	・・・1
3. ご挨拶	・・・2
4. 会社概要	・・・3
5. 相馬工場概要	・・・4
6. 相馬工場の製品	・・・4
7. 相馬工場の組織	・・・5
8. 工場方針	・・・5
9. 東日本大震災被災状況	・・・6
10. 災害・事故防止	・・・7
11. 水質汚濁防止	・・・7
12. 大気汚染防止	・・・8
13. 騒音・振動防止	・・・9
14. 悪臭防止	・・・9
15. 産業廃棄物削減	・・・10
16. 一般廃棄物削減	・・・11
17. 省エネルギー	・・・11
18. 化学物質	・・・12
19. 品質クレーム	・・・12
20. 地域交流と工場活動	・・・12、13
21. 被災地に向けた当社グループの支援	・・・14

2. 環境レポート作成にあたって

本レポートは株式会社 ADEKA 相馬工場における災害・事故防止の活動、環境保全の活動他について相馬工場業務課が作成しました。

作成にあたっては環境省の「環境報告ガイドライン 2007 年度版」を参考としています。

ADEKA 及びグループ企業の CSR については、ADEKA 本社で作成した CSR レポート冊子及び web でご覧いただけます。

※ADEKA グループ CSR サイト <http://www.adeka.co.jp/csr/index.html>
※財務情報、投資家情報 <http://www.adeka.co.jp/ir/library/index.html>

【対象範囲】：株式会社 ADEKA 相馬工場の安全・品質・環境保全活動・産業廃棄物の削減他。

【対象期間】：2006 年からの推移とともに 2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日。

3. ご挨拶

この度、2011年3月11日に発生しました「東日本大震災」により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

当工場も津波の被害により、生産活動が一時できない状況となり、皆様にご心配とご迷惑をお掛けしておりましたが、7月に再開し、現在では通常通りの生産に戻っております。今回の震災では、危機管理の一環として注力しておりますBCMS（事業継続マネジメントシステム）の実行により、お客様に影響を及ぼすことなく乗りきることができました。

これも、皆様のご協力のお蔭と従業員一同、心より感謝しております、ありがとうございます。



相馬工場を襲う津波



復旧した相馬工場

ADEKAグループの経営理念と経営の基本方針

「新しい潮流の変化に鋭敏であり続けるアグレッシブな先進企業を目指す」「世界とともに生きる」を経営理念とし、独自性のある優れた技術で、顧客ニーズに合った、時代の先端を行く製品を提供し、国際社会の一員として、社会との調和を図りながらステークホルダーの期待に積極的に応えていくことを経営の基本方針としています。

当工場は、世界一のモリブデン系潤滑油添加剤の生産拠点として自覚と誇りを持ち、〔環境・安全・品質〕の維持、向上及び、緊急時の事業継続を目指し日々活動しています。

製品は、自動車用エンジンオイルの添加剤として使用され、摩擦低減、静粛性向上、酸化防止等の効果から省燃費や潤滑油の長寿命化を実現しています。

国内の自動車産業は勿論、欧米を始めとする全世界で使用され、ご好評を頂いており、この効果は少なからず地球温暖化防止に寄与しているものと信じています。

生産にあたり、「ISO14001；環境マネジメントシステム」「OHSAS18001；労働安全衛生マネジメントシステム」「ISO9001；品質マネジメントシステム」及び、「BS25999-2；事業継続マネジメントシステム」を認証登録、これらを効率的、効果的且つ、シンプルに実践するため、「統合マネジメントシステム（IMS；Integrated Management Systems）」に集約し、工場運営の基盤としています。

これら活動を通じて、地域の皆様をはじめとする全てのステークホルダーから信頼・安心される工場を目指します。

2011年8月
株式会社 **ADEKA** 相馬工場
工場長 黒須 和広



4. 会社概要 (2011年3月31日現在)

創立 : 1917年 1月 27日(大正 6年)
資本金 : 229 億円
売上高 : 1,782 億円
従業員 : 1,525 名
事業所 : 本社(東京)、大阪支社、名古屋支店、福岡支店、札幌営業所、仙台営業所
生産工場 : 鹿島、千葉、三重、富士、明石、相馬
研究所 : 尾久、浦和、久喜、関西
海外拠点 : 米国、中国、韓国、台湾、シンガポール、ドイツ、フランス、アラブ首長国連邦、インド、タイ、マレーシア

事業所

- **本社**
〒116-8554 東京都荒川区東尾久七丁目2-35
- **大阪支社**
〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町四丁目2-21
- **名古屋支店**
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南一丁目20-12
- **福岡支店**
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前三丁目22-8
- **札幌営業所**
〒060-0003 北海道札幌市中央区北三条西三丁目1-47
- **仙台営業所**
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町二丁目3-20



生産工場

- **鹿島工場**
〒314-0102 茨城県神栖市東和田29
- **鹿島西製造所**
〒314-0103 茨城県神栖市東深芝5
- **千葉工場**
〒299-0266 千葉県袖ヶ浦市北袖三丁目1
- **三重工場**
〒511-0251 三重県員弁郡東員町山田3707-1
- **富士工場**
〒417-0841 静岡県富士市富士岡580
- **明石工場**
〒675-1112 兵庫県加古郡稲美町六分一-1183-15
- **相馬工場**
〒976-0005 福島県相馬市光陽一丁目1-1

製品が使われているところ	ADEKAグループ製品	製品が使われているところ	ADEKAグループ製品
液晶ディスプレイ(テレビ)	画像材料、光硬化樹脂、高純度塩素、回路形成材料	エンジンオイル	潤滑油添加剤
メモリ	誘電材料、絶縁膜材料	ダッシュボード	塩ビ用安定剤、可塑剤
携帯電話	画像材料、光硬化樹脂、エポキシ樹脂	電子部品	回路形成材料、半導体材料、
プラスチック、コード	酸化防止剤、紫外線吸収剤、難燃剤	ダム、トンネル、道路、橋脚	止水材、コンクリート保護剤、土壌注入剤、エポキシ樹脂、硬化剤
CD、DVD	光記録材料	電線	安定剤、金属不活性化剤、紫外線吸収剤、酸化防止剤
パソコン(本体)	難燃剤、酸化防止剤、紫外線吸収剤	産業廃水、上下水道	中和剤
半導体チップ、プリント基板	光硬化樹脂、回路形成材料	土壌	土壌改質剤
食品(食パン、クッキー、パイ、ドーナツ)	マーガリン、ショートニング、フィリングクリーム、ホイップクリーム、フライ・調理用油脂、マヨネーズ類	太陽電池	波長変換材料、色素増感型太陽電池向け材料
シート	塩ビ用安定剤、水系ウレタン樹脂	消毒・殺菌剤	消毒・殺菌剤、過酸化製品
パンパー	光安定剤、紫外線吸収剤、造核剤	化粧品、ヘアケア製品	界面活性剤
外装塗料	水系樹脂、ポリウレタン原料	液体洗浄剤・漂白剤	プロピレングリコール
		健康食品	β-グルカン

5. 相馬工場概要

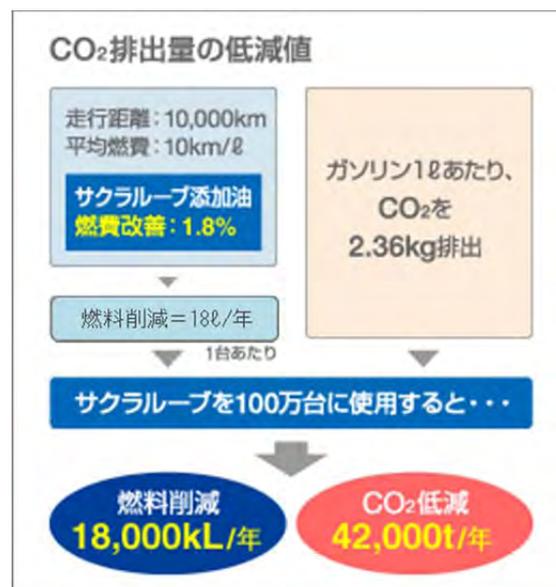
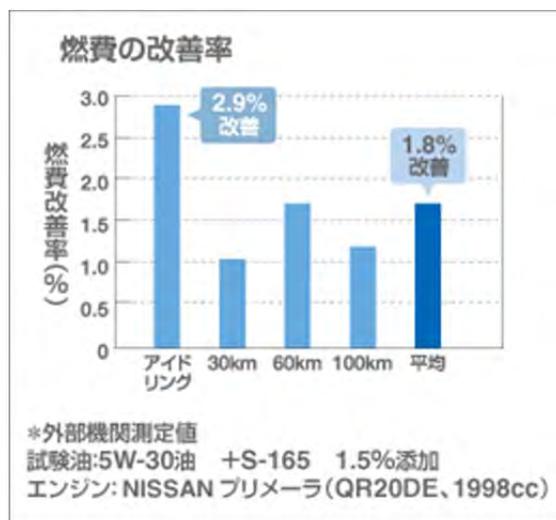
所在地 : 福島県相馬市光陽一丁目1番地1
 工場設立 : 1995年(平成7年)
 敷地面積 : 228,458m²(約7万坪) 東京ドーム約5個分
 従業員 : 16人(2011年8月現在)
 沿革 : 1995年11月 操業開始
 1998年8月 ISO9002 適合取得
 2000年8月 ISO14001 適合取得
 2002年12月 OHSAS18001 適合取得
 2003年9月 ISO9002 から 9001 へ移行
 2004年12月 IMS「統合マネジメントシステム」を適合取得
 2007年4月 宮城県沖地震を想定した緊急時事業継続計画「BCP」を策定
 2010年3月 BS25999-2 適合取得

6. 相馬工場の製品

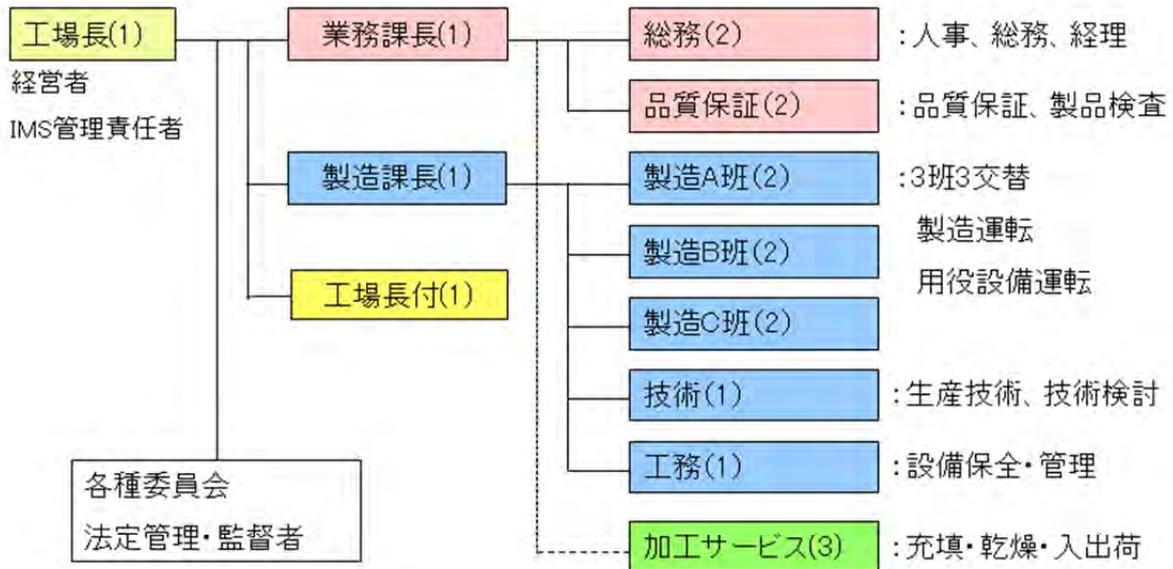
日本国内で唯一、モリブデン潤滑油添加剤を製造しており世界シェア NO.1 です。自動車のエンジンオイルに添加することで省燃費、炭酸ガス発生量の低減を実現します。1995年にはその優秀性が認められ石油学会賞を受賞しました。



石油学会賞受賞



7. 相馬工場の組織



8. 工場方針

1. 品質、環境、労働安全衛生及び事業継続の4のマネジメントシステムを統合化し、効率的且つ効果的な活動にする。
2. 会社方針、生産本部方針及び環境・安全対策本部方針を受け、工場管理の強化（4つの安全から安心へ）を掲げ工場活動を推進する。
3. 潤滑油添加剤の世界一の工場としての誇りを持ち、常に安全で効率的、且つ品質と生産技術及び現場改善力を向上させ、全ての利害関係者から満足・信頼される工場運営を追求する。
4. BCMを構築し、継続的改善を通じて全従業員への周知徹底、BCM文化を組み込む。
5. 風光明媚な松川浦、緑豊かな阿武隈山地など、美しい自然環境を守る責務があることを認識し、法令・規則及び当工場が同意する顧客・利害関係者を含む要求事項を遵守した工場経営を行う。
6. 当工場従業員は、危険物、毒劇物、有機溶剤、高圧ガスなどを取り扱う化学工場であること、事業中断・非常事態等のインシデント（危機）が常に存在することを認識し、環境汚染の予防、負傷・疾病の予防、事故・災害の予防、危機管理に配慮した活動を行う。
7. 定期的に目標の設定及び見直しをおこなう。又、統合マネジメントシステム及びパフォーマンスの継続的改善を図る。
8. 当工場従業員及び当工場に働く全ての人は本方針を理解し、業務を遂行する。

株式会社  相馬工場 工場長

9. 東日本大震災被災状況

地震発生 : 2011年3月11日(金) 14:46
震度 : 相馬市震度6弱、新地町震度6強
地震被害 : 製品ドラム落下による変形、敷地の地盤沈下
津波襲来 : 2011年3月11日(金) 15:50頃
津波被害 : 建屋1.5m浸水、社有車1台、フォークリフト2台、車両18台水没、
受電設備、プロセスコンピュータ、検査機器、パソコン、事務用品等水没
復旧 : 3月14日より出社しガレキ、土砂の撤去開始
6月20日に試運転開始
7月1日に通常操業開始



流出したドラム類



津波による漂着物



泥とガレキ



水没した事務所



回収作業する従業員



片付け作業する従業員

10. 災害・事故防止

操業開始以来、無事故・無災害を継続中です。

11. 水質汚濁防止※

※11. ~14. は操業以来すべて公害防止協定値を外れることなく安定した管理ができています。

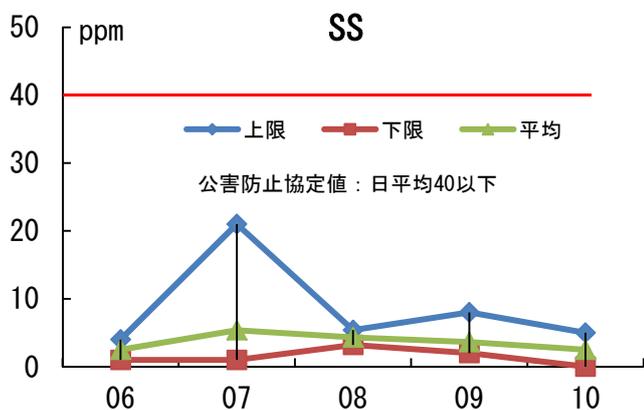
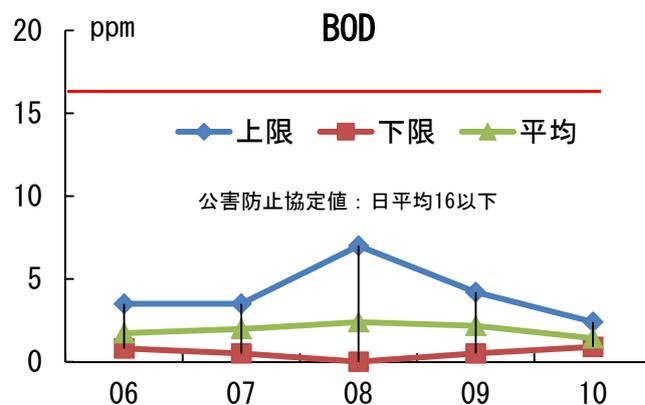
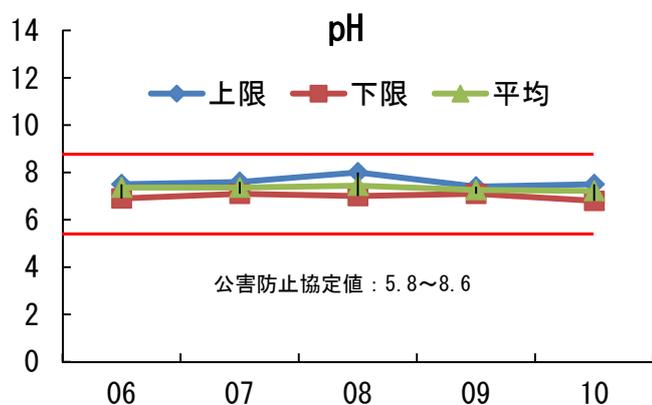
工場から発生した排水は汚染状態によって焼却処理、排水処理を経て排出しています。水質は公害防止協定・法令によって定期的な分析・監視を実施しています。



排水処理設備



排水ピット



pH：酸性、アルカリ性を示す
 BOD：生物化学的酸素要求量
 SS：浮遊物量

12. 大気汚染防止※

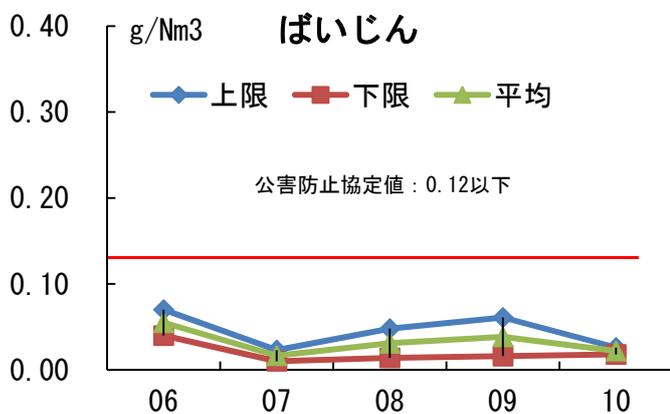
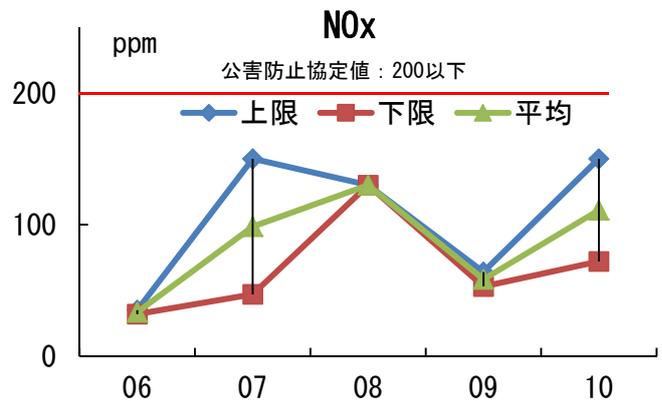
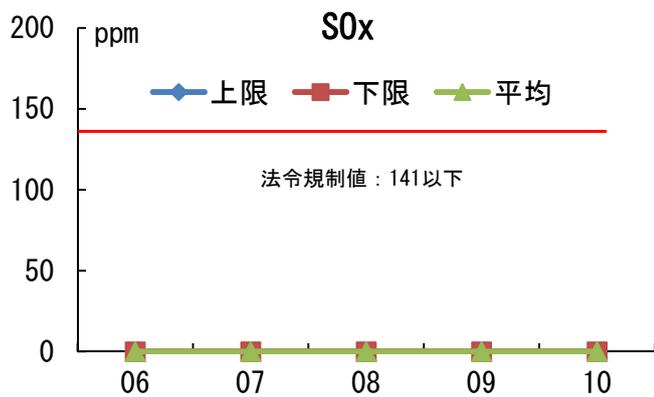
規制対象設備は廃棄物焼却炉です。運転状態の常時監視と連続記録により、法で規定された運転管理を実施しています。ばいじんを除去するガスフィルターを設置し、排出を抑制しています。



廃棄物焼却炉



ガスフィルター



SOx：硫黄酸化物 (k 値 17.5 換算値)

NOx：窒素酸化物

ばいじん：すす、塵等

13. 騒音・振動防止※

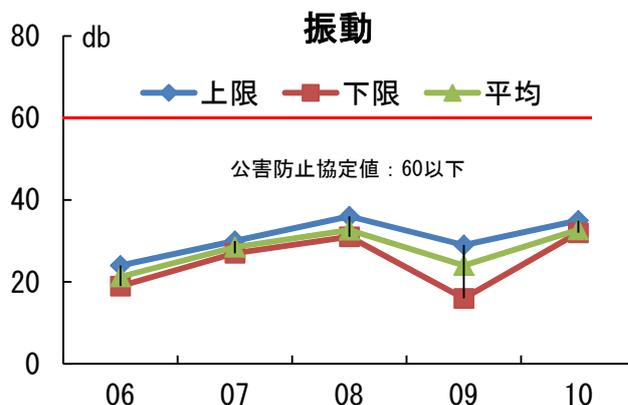
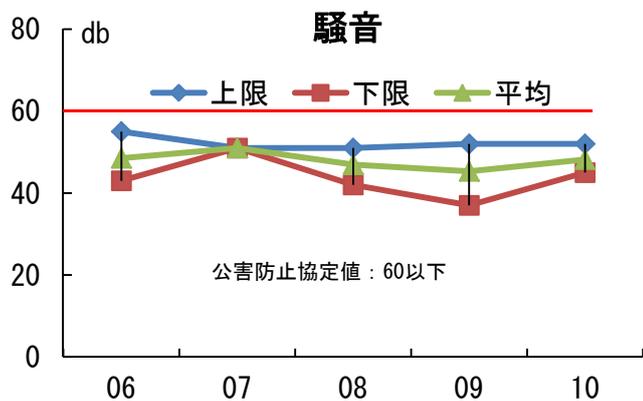
騒音・振動発生設備には空気圧縮機、送風機、非常用発電機があります。騒音・振動の小さい設備を設置し、屋内に配置しています。工場周辺には緩衝緑地を設け遮音効果を向上させています。



空気圧縮機



緩衝緑地



14. 悪臭防止※

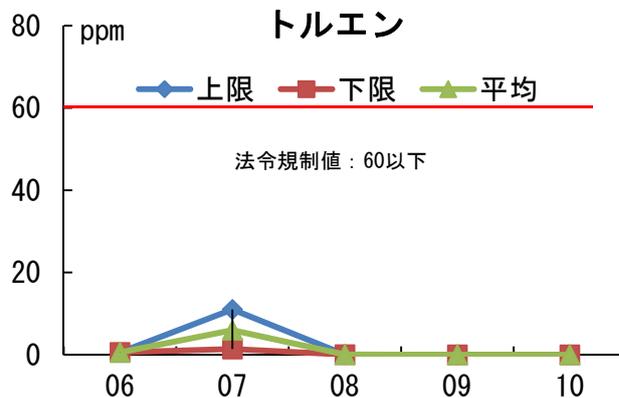
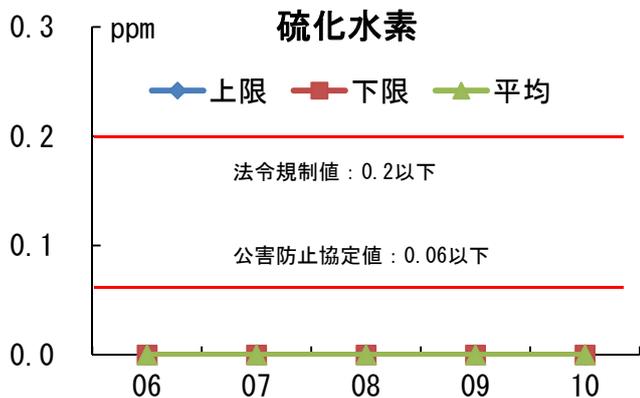
悪臭規制物質は硫化水素・トルエンの2物質です。設備の密閉化、窒素シール、排ガス処理設備にて外部への排出を削減しています。



排ガス処理設備

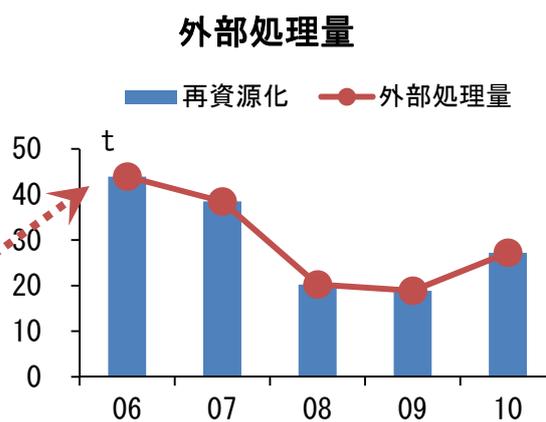
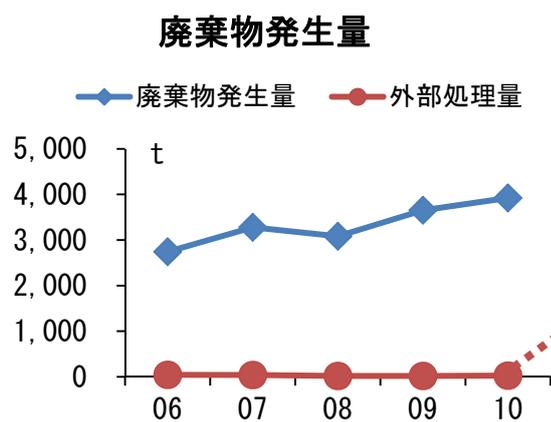


排気筒



15. 産業廃棄物削減

廃棄物は生産工程からの廃油、廃液、製品濾過汚泥や、紙、ビニールくず等が発生します。発生量の削減、自社処理、リサイクルを推進しています。2009年3月に福島県の「もったいない活動・ゼロエミッション活動コンクール」の最優秀事業所として県知事表彰を受賞しました。



平成20年度 もったいない活動・ゼロエミッション活動コンクール表彰式

自社処理有効活用

廃油	重油代替燃料
廃液	焼却後有価物回収
廃サンプル瓶	超音波洗浄後リサイクル

外部処理有効活用

廃プラスチック包 装材	粉碎・圧縮後燃料化
廃紙包装材 製品ろ過汚泥	粉碎・圧縮後燃料化 焼却後路盤材原料

売却

廃パレット類	売却リサイクル
スクラップ類	スクラップ原料
廃ドラム缶類	リサイクル・売却

16. 一般廃棄物削減

従業員にマイ箸やエコバックの奨励、ゴミの分別資源化、たばこの吸い殻やティッシュを馬糞と混ぜ、コンポストによる堆肥化を進めゴミの削減を推進しています。年間で450ゴミ袋を100袋から12袋まで削減できました。



自社製コンポスト



馬糞を投入



吸い殻やティッシュを投入



馬糞と混合

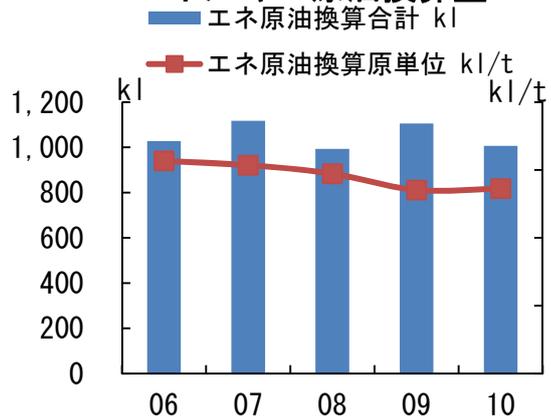


堆肥化成功

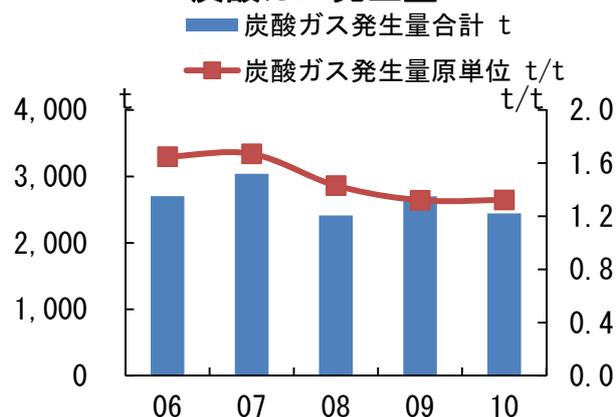
17. 省エネルギー

エネルギーは重油と電力を使用しています。2008年の世界同時不況による影響を受けましたが、当工場の潤滑油添加剤の生産・出荷は復調し、炭酸ガス発生量は増加傾向にありました。炭酸ガス削減のために効率的な生産方法の検討や、新エネルギーの利用が今後の課題です。

エネルギー原油換算量



炭酸ガス発生量



18. 化学物質

化学物質の管理は法令・会社規定の順守に留まらず、自主的に化学物質管理基準を作成し、下記6物質の管理強化を図っています。

- ・トルエン
- ・メタノール
- ・硫化水素
- ・二硫化炭素
- ・硫化リン
- ・ダイオキシン類



窒素シールされたタンク



化学物質回収設備

19. 品質クレーム

リスクアセスメントにより、想定される問題の対策を事前に講じる事でクレームを防止しています。操業以来、品質クレーム発生を2件('98、'06各1件)に留めています。

20. 地域交流と工場活動



近隣行政地区見学会



工場周辺ゴミ拾い





相馬市民まつり



新地町産業祭



救命救急訓練



消火訓練



緊急時炊き出し訓練



従業員家族を交えた納涼祭

環境レポート (2011年版)

2011年8月発行

発行責任者 : 株式会社 ADEKA 相馬工場

作成担当者 : //

工場長
業務課長

黒須 和広
阿部 栄洋

◆◆株式会社 A D E K A は、被災地への支援にも尽力してまいります◆◆

1. 義援金：合計金額：2,000 万円

金額	義援金拠出先
1,000 万円	社団法人日本経済団体連合会 (社会福祉法人中央同募金会) 金額内訳：当社 800 万円、 関連会社 (10 社) 200 万円
1,000 万円	福島県相馬市 福島県新地町

2. 支援物資の提供

当社関連会社である「上原食品工業株」で製造・販売中のレトルトカレー合計 350 ケース (7,000 食分) を支援物資として福島県相馬市、福島県新地町に提供。

3. 仮設住宅建設用地の無償貸与

相馬工場近隣の当社遊休地を仮設住宅建設用地として相馬市に無償貸与。

物 件	福島県相馬市新沼字刈敷田 18-5 (地積 6,007.19m ²) 福島県相馬市新沼字刈敷田 1-54 (地積 2,824.15m ²) 地積合計：8,831.34m ²
-----	---



※掲載許可を得ております。

連絡用紙

株式会社 A D E K A 相馬工場 業務課行

〒976-0005 福島県相馬市光陽一丁目1番地1

TEL 0244-38-8877

FAX 0244-38-8847

この環境レポート、または相馬工場についてのご意見・ご質問・ご感想などをお寄せください。
今後の参考とさせていただきます。また、工場見学も歓迎いたしますので、ぜひおいでください
ますようお願い致します。

お名前		ご職業	
ご住所			
TEL		FAX	



株式会社 ADEKA 相馬工場
〒976-0005 福島県相馬市光陽一丁目 1 番地 1

お問い合わせ先
業務課
TEL:0244-38-8877 FAX:0244-38-8847

本社
〒116-8554 東京都荒川区東尾久七丁目 2 番 35 号

お問い合わせ先
法務・広報部
TEL:03-4455-2803 FAX:03-3809-8210